

LED電源ユニット

(電源別置型・屋外用)

電源ユニット品番	器具質量 (kg)	クラス	適合灯具	塩害仕様
NYK (NYKH) 43010LF2	5.0	マルチハロゲン灯 S タイプ 1000 形相当	NYS31517 NYS31527 NYS31537 NYS31547	重耐塩害仕様
NYK (NYKH) 43020LF2	5.7	マルチハロゲン灯 S タイプ 1500 形相当	NYS31717 NYS31727 NYS31737 NYS31747	

※上記()内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 **工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

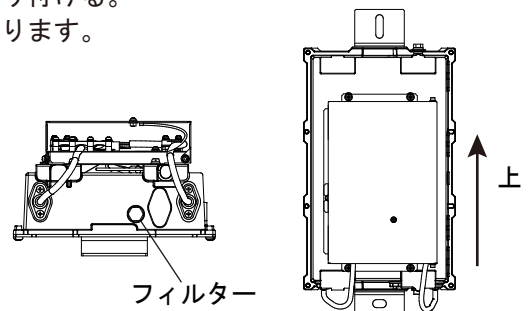
安全に関するご注意

警告

- 施工は施工説明書にしたがい確実に施工を行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 接地工事(D種接地工事)を確実に施工を行う。接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 一般屋外用器具です。浴室など湿気が多い場所、振動や衝撃が多い場所(クレーン設置場所・橋や高架上等)、腐食性ガスの発生する場所、塩素を使用する屋内プール、粉塵が多い場所などでは使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 草木でLED電源ユニットが覆われるような場所では使用しない。LED電源ユニット損傷による火災・破損の原因となります。
- 取付方向に制限があります。屋内・屋外それぞれ下記の表をもとに取り付ける。指定方向以外の取り付けをされると浸水による感電・落下の原因となります。

標準取付 (結線部が下側)

使用環境	壁面取付			水平取付	
	標準取付 (結線部が下側)	逆取付 (結線部が上側)	横向き 取付	据置	天井
屋外	○	×	×	×	×
屋内	○	×	○	○	×



- フィルターを緩めたり、衝撃を加えない。浸水による感電・火災の原因となります。
- 器具の取り付けには必ず平座金(M10並形)、ばね座金、六角ナット(ダブルナット仕様)を使用する。取り付けに不備があると落下の原因となります。
- シースの無い電源線接続箇所からシースの部分まで、全体を自己融着テープで巻いてから絶縁テープで処理し防水対策を行う。接続部は上向きとし、電線と電線の隙間から浸水しないようにする。不備があると感電・火災・浸水の原因となります。
- 単線とより線の直線接続(ねじり接続など)はしない。必ず専用工具で圧着すること。感電・火災の原因となります。
- 灯具との配線の記号の組み合わせを絶対に間違えないこと。不備があると火災・感電・故障の原因となります。
- 電源電線の接続は確実に施工を行う。接続に不備があると感電の原因となります。
- LED電源ユニットを2台以上並べて設置する場合は、相互の熱を受けるため、間隔をあけて設置する(10mm以上)
- 落下防止ワイヤーは取付方法にしたがい、確実に取り付け。取り付けに不備があると器具落下の原因となります。
- 高所に器具を取り付ける場合は、落下防止ワイヤーを必ず取り付けること。その際、器具は3m以上に設置すること。けがの原因となります。
- 密閉された空間では使用しない。発熱・発火および器具短寿命の原因となります。
- 適合灯具と組み合わせて、使用すること。(適合灯具は上表参照) 火災の原因となります。
- 口出し線を結線する際、アームなどの周辺部品に巻きつけないでください。角度調整で灯具を動かす際、他部品にケーブルが挟まり、感電・不点の原因となります。



⚠ 注意

- 一般屋外用器具です。それ以外の場所では使用できません。落下・感電・火災の原因となります。
- 60m/s仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では、使用しないでください。器具落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)、周波数で使用してください。
指定外の電源電圧・周波数で使用されますと感電・火災の原因となります。
- 電源線と調光信号線は600Vビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル又は600V二種EPゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するものをご使用ください。
但し、連続調光加工品の場合、調光信号線はシールド付きのものをご使用ください。
電源入力用・電源送り用 : 2.0mm²~3.5mm² 仕上り外径φ10~φ13 3心ケーブル
灯具接続用 : 2.0mm²以上 仕上り外径φ10~φ13 3心又は5心ケーブル
調光信号用(段調光加工品) : 2.0mm²~3.5mm² 仕上り外径φ10~φ13 2心ケーブル
調光信号用(連続調光加工品) : FCPEV相当 φ9~φ12 シールド付きケーブル
指定外ケーブルを使用されますと浸水による感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、-20~35°Cで使用してください。又、日中点灯は施工時の一時的な点灯確認のみとしてください。
器具の短寿命や不点・火災の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には設置しないでください。
つららが落ちることがある場合は、つららの除去を行なってください。つらら落下によるけがの原因となります。
- 冠水のおそれのある場所では使用しないでください。感電の原因となります。
- スイッチを接地側に取り付けた場合、ノイズにより消灯後もランプが薄暗く点灯する場合がありますので、必ず非接地側(電圧側)に取り付けてください。(接地側の無い電源では両切りスイッチをお勧めいたします。)
- 器具の取り付け・取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。
- 調光線を別系統あるいはスイッチなどで切り離して使用する場合はSPDが必要になります。
- 灯具と電源ユニット間のケーブル長さは100m以下としてください。
漏洩電流増加による感電の原因となります。
- 配線長毎の漏洩電流値は右表のとおりです。
適切なブレーカーを選定ください。
ブレーカーは必ず両切りとなるよう接続してください。
漏洩電流増加による感電の原因となります。
- 集合盤内で使用する場合は、容積をできるだけ大きく確保し、集合盤内温度35°C以下でご使用ください。
- 使用を終了した製品は、放置せずに撤去してください。器具落下の原因となります。

品番	NYK43010LF2			
中継線長さ	100m	80m	50m	30m
漏洩電流	2.4mA	2.1mA	1.7mA	1.4mA

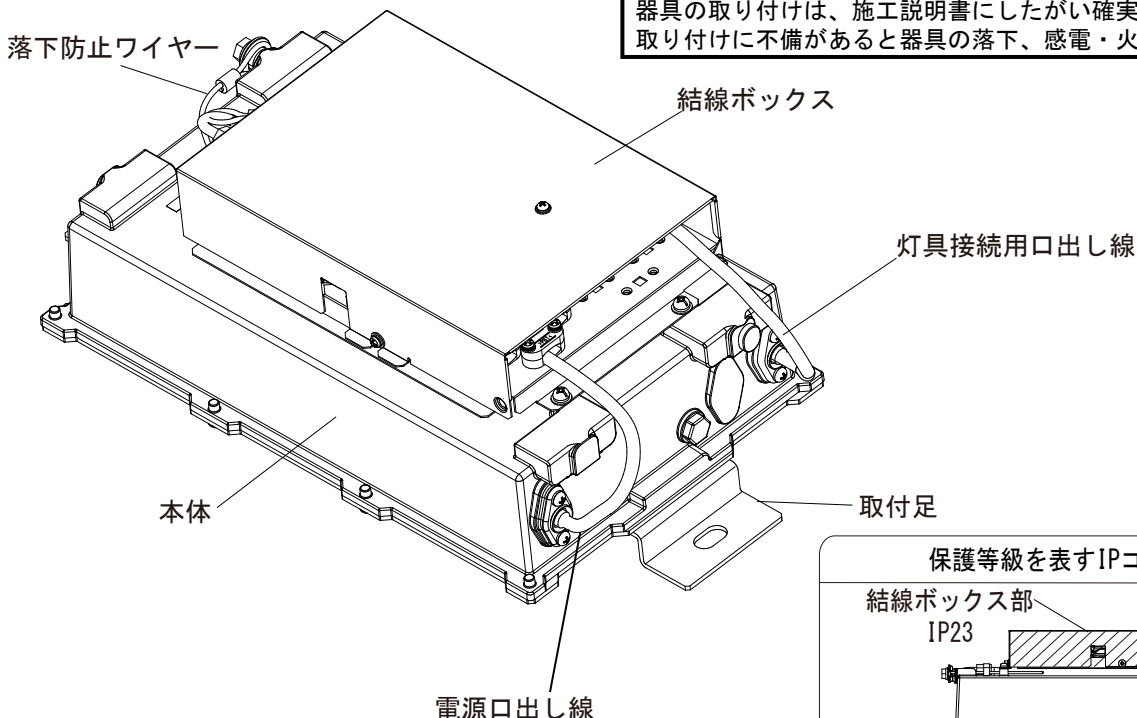
品番	NYK43020LF2			
中継線長さ	100m	80m	50m	30m
漏洩電流	4.6mA	4.1mA	3.2mA	2.6mA

各部のなまえと取付方法

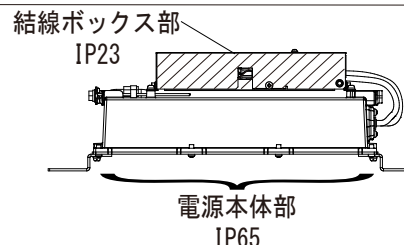
・本図はNYK43010LF2の一部簡略化した図です。

⚠ 警告

器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実に行う。
取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。



保護等級を表すIPコードの詳細



各部のなまえと取付方法



警告

器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実にを行う。
取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。

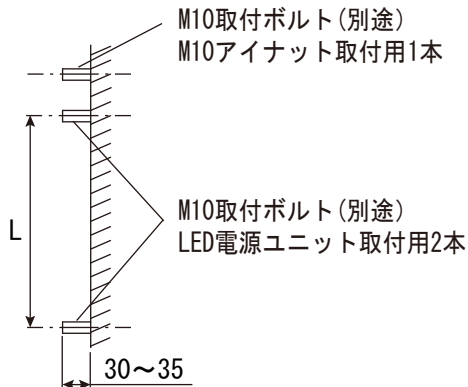
寸法単位：mm

1. 取り付け前の確認を行う

- ・器具質量および風圧荷重に耐えるように
M10取付ボルト(別途)をLED電源ユニット取付用2本と
M10アイナット取付用1本を用意してください。
- ・器具の取り付け、取り外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

【壁面取付時】

取付ボルト設置図

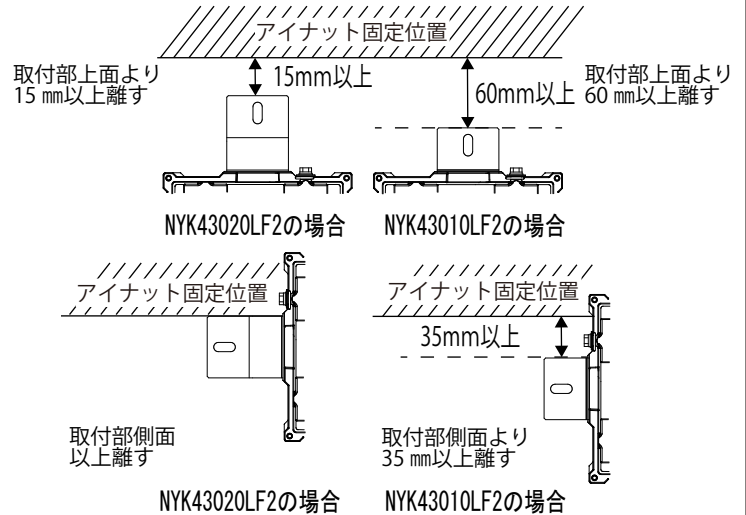


NYK43010LF2の場合 L=435~460

NYK43020LF2の場合 L=535~550

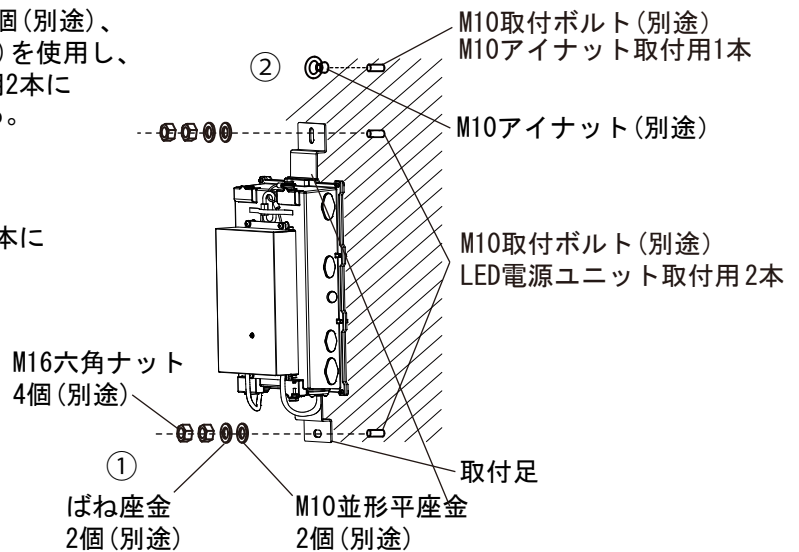
下図の斜線部範囲内にM10取付ボルト(別途)
M10アイナット取付用1本の中心がくるように
取り付けてください。

※天井面への取付不可



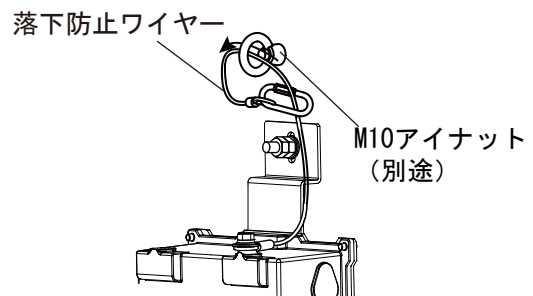
2. LED電源ユニットを取り付ける

- ① LED電源ユニットの固定は、M10並形平座金2個(別途)、ばね座金2個(別途)、M10六角ナット4個(別途)を使用し、M10取付ボルト(別途)LED電源ユニット取付用2本に取付足をダブルナットにて確実に締め付ける。
(推奨締め付トルクM10: 24N・m)
不備があると落下の原因となります。
- ② M10取付ボルト(別途)M10アイナット取付用1本にM10アイナット(別途)を確実に締め付ける。
不備があると落下の原因となります。



3. 落下防止ワイヤーを取り付ける

落下防止ワイヤーをM10アイナット(別途)に通し確実に固定する。
不備があると落下の原因となります。



警告

落下防止ワイヤーを固定する際は、LED電源ユニット取付位置から上方にアイナットを設置する。
不備があると落下の原因となります。



各部のなまえと取付方法

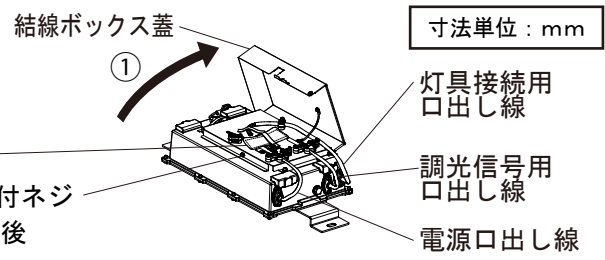
4. 電源口出し線を接続する

警告

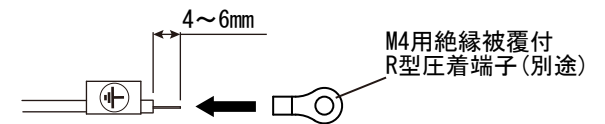
器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実に行う。
取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。

- M4取付ネジをゆるめて結線ボックス蓋を開ける。
M4取付ネジ以外のネジをゆるめないでください。
不備があると落下・感電の原因となります。
- 結線ボックス内に付属されている配線ラベルを取り出す。

①(+)	①(-)	②(+)	②(-)	③(+)	③(-)	Ⓜ
(+)①	(-)①	(+)②	(-)②	(+)③	(-)③	

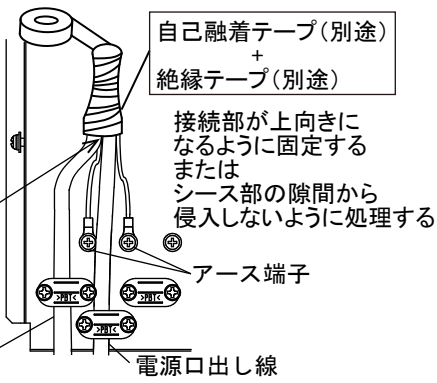
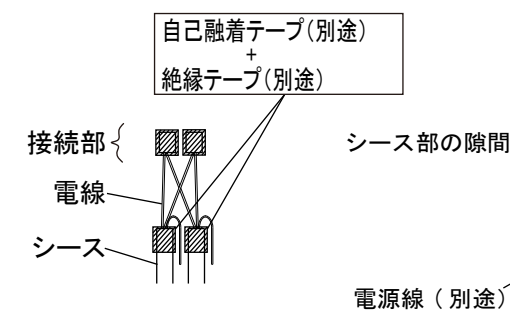
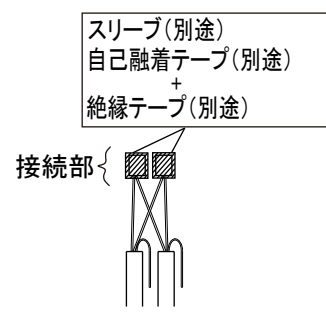


- 電源線(別途)、電源送り線(別途)の外装シースを約100mm剥いた後リード線の先端(両端)から約20mm剥く。
電源線(別途)、電源送り線(別途)は2.0mm² ~ 3.5mm²、仕上り外形φ10 ~ φ13 3心ケーブルをご使用ください。



- アース線の先端を4~6mmにカットしM4用絶縁被覆付R型圧着端子(別途)を取り付ける
- スリーブなどにより接続後、自己融着テープを巻き、絶縁テープで仕上げてください。
- キャブタイヤケーブルの外装とシースの隙間から浸水を防ぐ為、電源線(別途)と口出し線のシース端を自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。

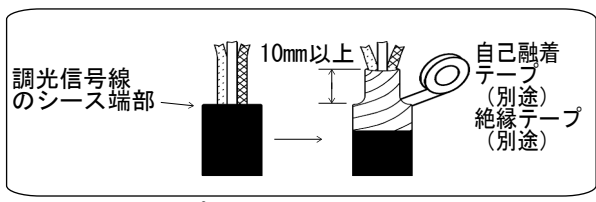
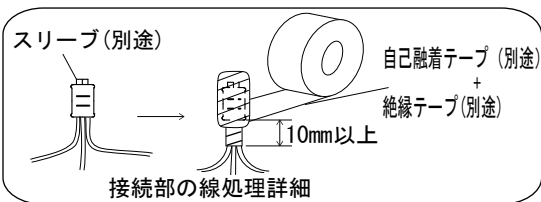
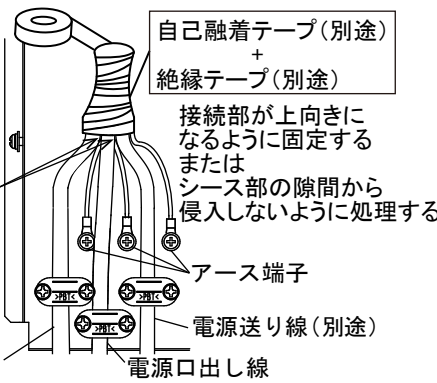
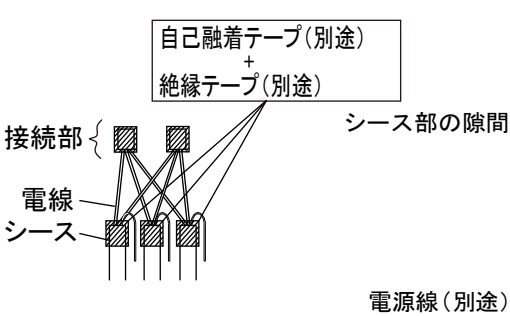
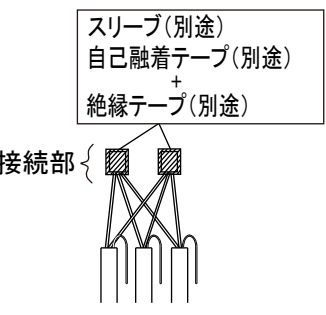
- 自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。



(送り線有の場合)

- スリーブなどにより接続後、自己融着テープを巻き、絶縁テープで仕上げてください。
- キャブタイヤケーブルの外装とシースの隙間から浸水を防ぐ為、電源線(別途)と口出し線のシース端を自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。

- 自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。

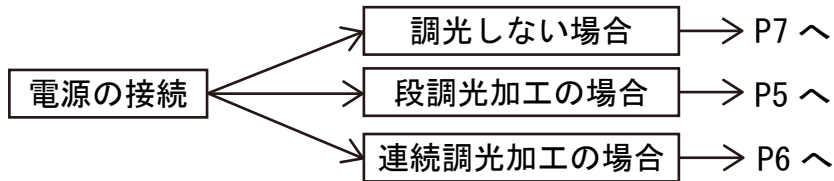


※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープなどで処理する。

※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープなどで処理する。

防水処理に不備があると感電・火災・浸水の原因となります。

- 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈12条にしたがうこと
- 電源線の接続が完了した後、調光信号用口出し線の接続作業は下記のフローにしたがい、ページに移動し、作業を行う。



各部のなまえと取付方法

5. 調光信号用口出し線を接続する。

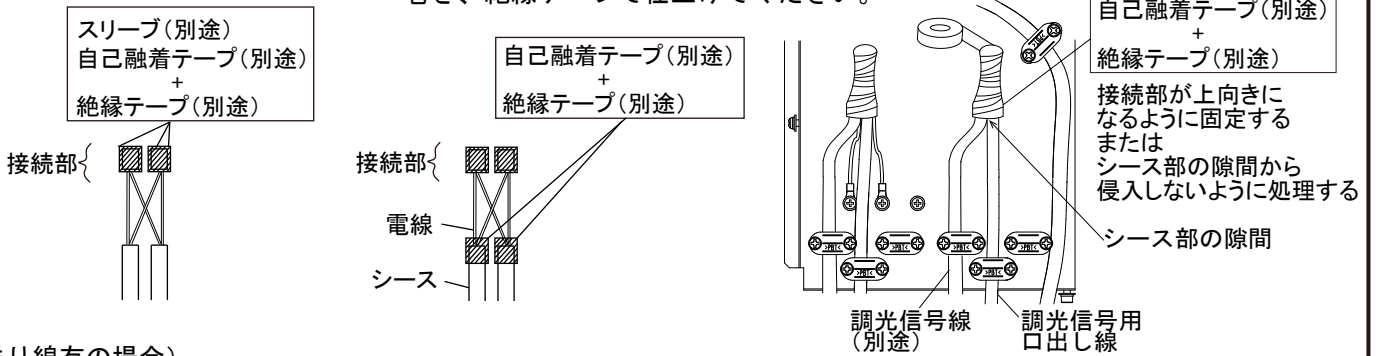
5-1 段調光加工の場合

警告

器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実に行う。
取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。

- ① 調光信号線(別途)、調光信号送り線(別途)の外装シースを約100mm剥いた後、リード線の先端(両端)から約200mm剥く。
調光信号線(別途)調光信号線送り線(別途)は2.0mm²～3.5mm²、仕上り外形φ10～φ13 2心ケーブルをご使用ください。
- ② スリーブなどにより接続後、自己融着テープを巻き、絶縁テープで仕上げてください。
- ③ キャブタイヤケーブルの外装とシースの隙間から浸水を防ぐ為、調光信号線(別途)と口出し線のシース端を自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。

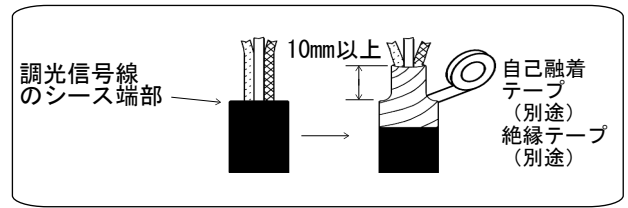
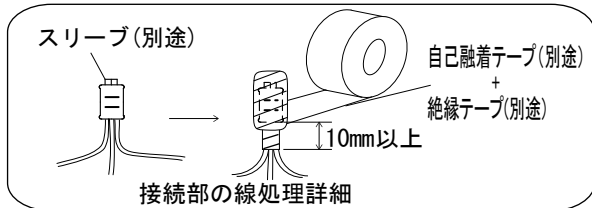
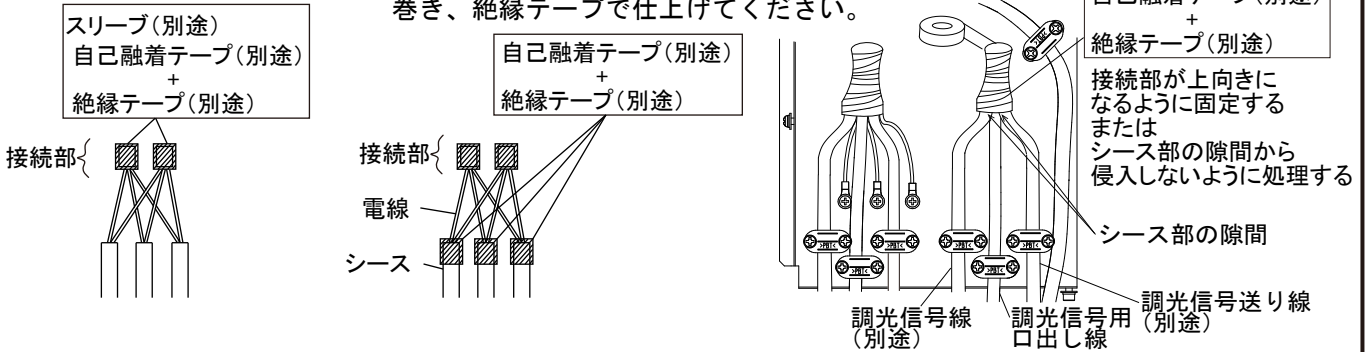
- ④ 自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。



(送り線有の場合)

- ② スリーブなどにより接続後、自己融着テープを巻き、絶縁テープで仕上げてください。
- ③ キャブタイヤケーブルの外装とシースの隙間から浸水を防ぐ為、調光信号線(別途)と口出し線のシース端を自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。

- ④ 自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。



※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープなどで処理する。

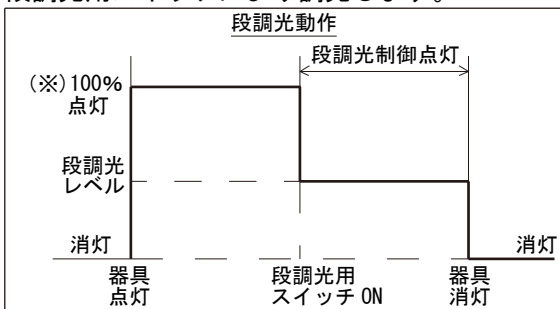
※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープなどで処理する。

防水処理に不備があると感電・火災・浸水の原因となります。

・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈12条にしたがうこと

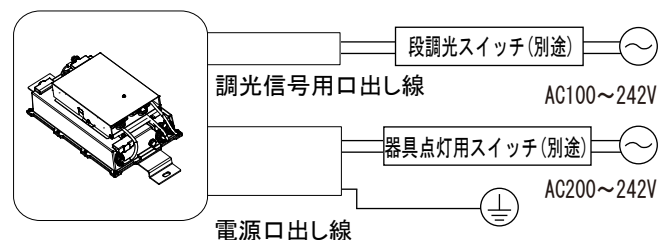
段調光動作

段調光用スイッチにより調光します。



【ご注意】

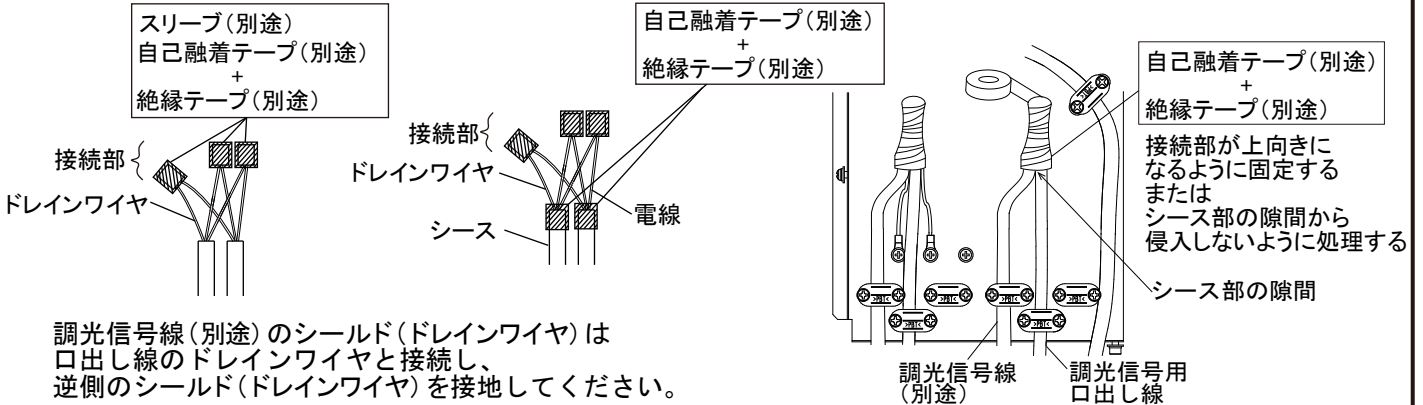
※初期光束補正機能付の場合、定格光束の85%となります。



各部のなまえと取付方法

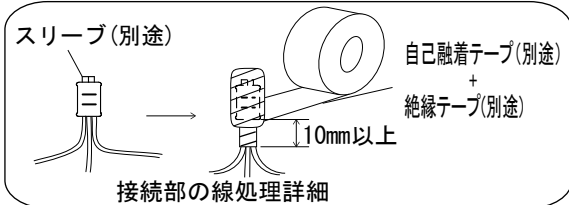
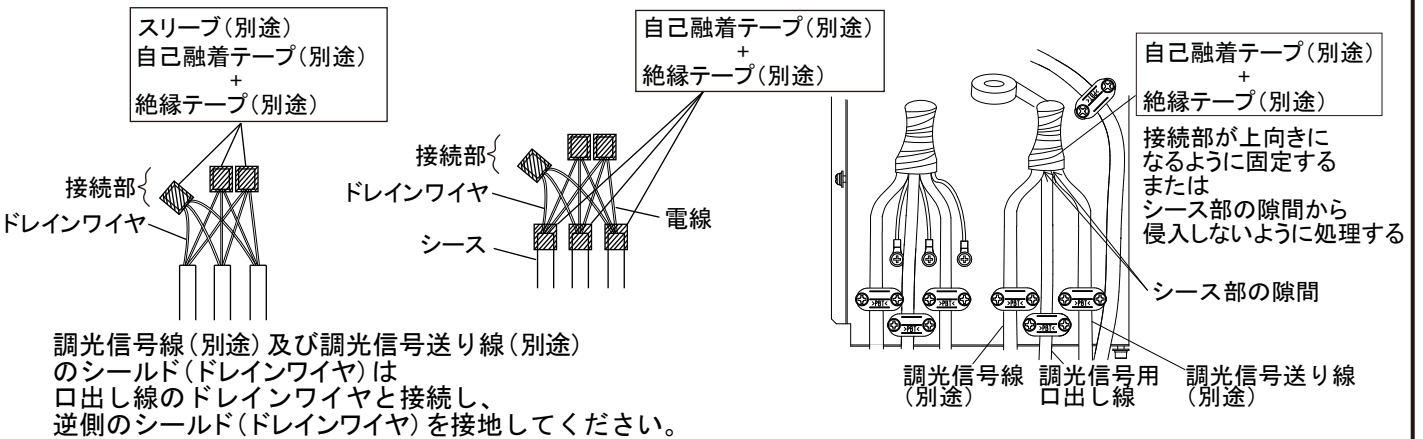
5-2 連続調光加工の場合

- ①調光信号線(別途)、調光信号送り線(別途)の外装シースを約100mm剥いた後、リード線の先端(両端)から約20mm剥く。
調光信号線(別途)、調光信号送り線(別途)はFCPEV相当φ9～φ12シールド付き2心ケーブルをご使用ください。
- ②スリーブなどにより接続後、自己融着テープを巻き、絶縁テープで仕上げてください。
- ③シールド付きケーブルの外装とシースの隙間から浸水を防ぐ為、調光信号線(別途)と口出し線のシース端を自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。
- ④自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。

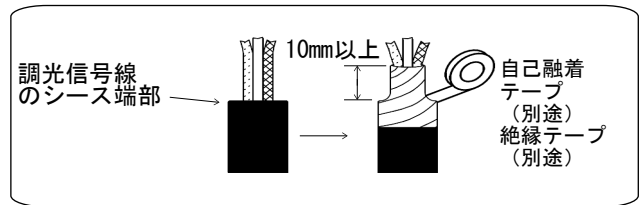


(送り線有の場合)

- ②スリーブなどにより接続後、自己融着テープを巻き、絶縁テープで仕上げてください。
- ③シールド付きケーブルの外装とシースの隙間から浸水を防ぐ為、調光信号線(別途)と口出し線のシース端を自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。
- ④自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。



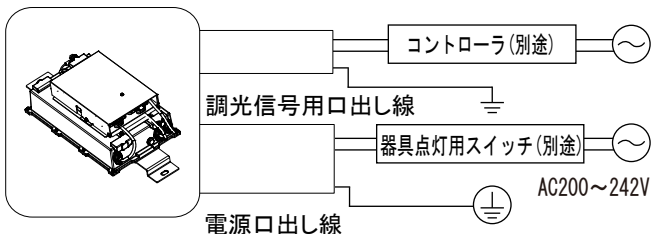
※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープなどで処理する。



※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープなどで処理する。

防水処理に不備があると感電・火災・浸水の原因となります。

・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈12条にしたがうこと



各部のなまえと取付方法

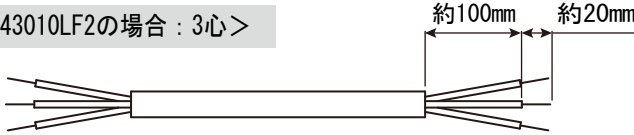
警告

器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実に行う。
取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。

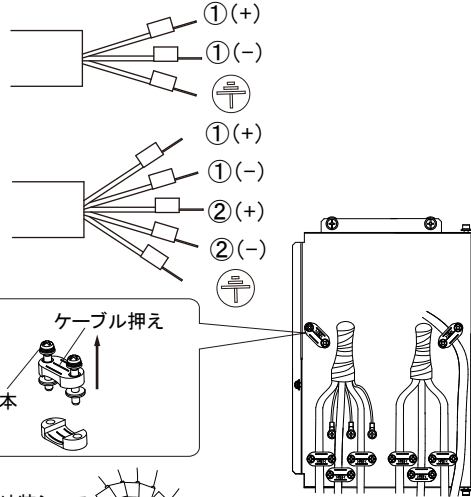
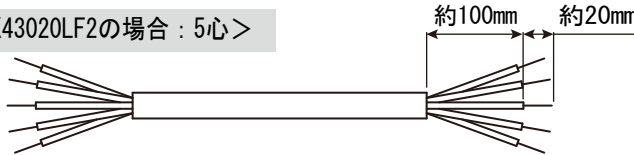
6. 灯具接続用口出し線と専用電源ユニット出力中継線(別途)を接続する。

- ① 専用電源ユニット出力中継線(別途)の外装シース(両端)を約100mm剥いた後、リード線の先端(両端)から約20mm剥き、リード線に配線ラベルを貼り付ける(両端)専用電源ユニット出力中継線(別途)は、2.0mm²以上、仕上り外形φ10～φ13ケーブルをご使用ください。

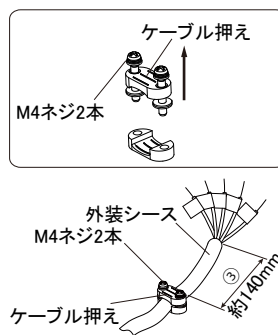
<NYK43010LF2の場合：3心>



<NYK43020LF2の場合：5心>



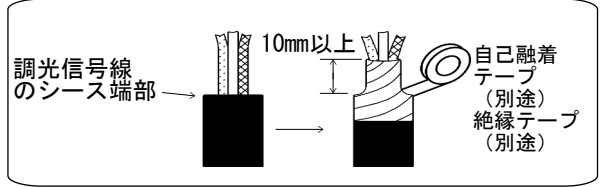
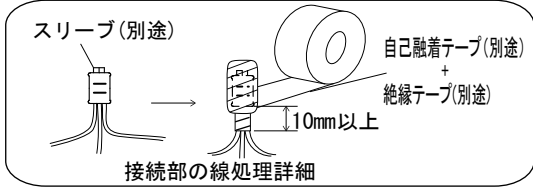
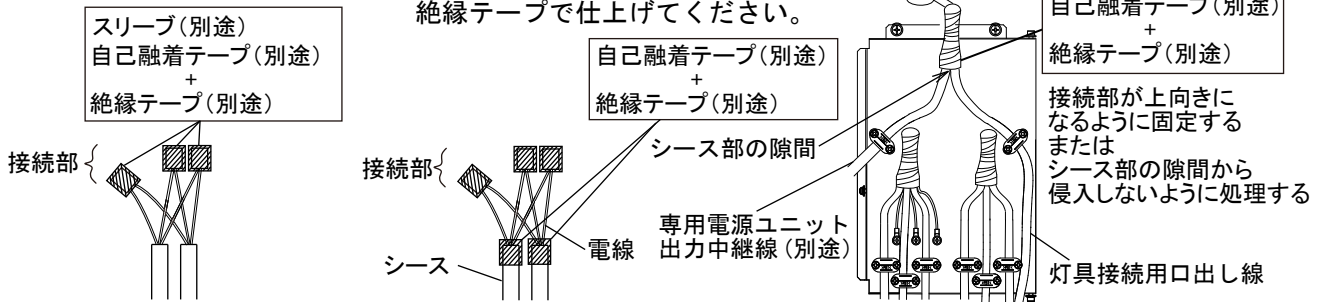
- ② ケーブル押えを取り外す。
M4ネジ2本はケーブル押えから外さないでください。
抜止めワッシャがM4ネジ1本につき2枚付いていることを確認してください。
不備があると感電の原因となります。



- ③ 専用電源ユニット出力中継線(別途)を外装シース先端から約140mmの位置をケーブル押えで固定する。
M4ネジ2本は片締めのないように締め付ける。
(推奨締付トルク M4: 1.0N・m)
不備があると落下・感電の原因となります。

専用電源ユニット出力中継線(別途)と灯具接続用口出し線の記号を合わせて接続する。

- ④ スリーブなどにより接続後、自己融着テープを巻き、絶縁テープで仕上げてください。
⑤ キャブタイヤケーブルの外装とシースの隙間から浸水を防ぐ為、専用電源ユニット出力中継線(別途)と口出し線のシース端を自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。
⑥ 自己融着テープで巻き、絶縁テープで仕上げてください。



※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープなどで処理する。

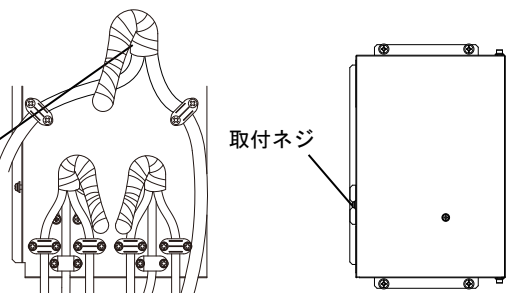
※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープなどで処理する。

防水処理に不備があると感電・火災・浸水の原因となります。

- 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈12条にしたがうこと

- ⑦ 結線ボックス内に線を確実に収納、噛み込まないようにし結線ボックス蓋を閉め、取付ネジを確実に締め付ける。
(推奨締付トルクM4: 1.0N・m)
不備があると感電の原因となります。

・配線を図のように曲げ、結線ボックスに納める。
不備があると感電・浸水の原因となります。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

安全に関するご注意

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠ 警告

- 器具の改造および構成部品(LED、電源部など)の交換をしない。感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。感電・火災の原因となります。
- 欠けやひび割れの発生しているパネルは使用しない。感電・落下の原因となります。
- 被照射物とは100cm以上離す。過熱による火災の原因となります。
- 上向き照射する場合、パネル上の堆積物は定期的に取り除く。堆積物によって熱がこもり、堆積物の発火、パネルの変形や器具破損による浸水・感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

- お手入れの際には、必ず電源を切って器具が十分冷えてから行なってください。感電・やけどの原因となります。
- 積雪地域でご使用の場合は、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。器具破損の原因となります。
- 殺虫剤などの引火物の噴霧は行わないでください。発火によるやけどのおそれがあります。
- 布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、被せたりしないでください。発火の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、器具の縁などにつららができることがあります。つららの除去を行なってください。つらら落下によるけがの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年※1経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。
※1使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
※1LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。
点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- LED照明器具の光源寿命※2は40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
※2光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間、または全光束が点灯初期の85%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

保証について

- 1:保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 2:保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 3:補修用性能部品(電気部品)について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて

- 器具の清掃について・・・汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルカリ系洗剤、シンナー、ベンジンでふかないでください。変色・変質の原因となります。強い水圧をかけての清掃はしないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

- 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

定 格

品番	定格電圧	入力電流	周波数
NYK43010LF2	AC200-242V	2.11A-1.76A	50/60Hz
NYK43020LF2	AC200-242V	3.54A-2.91A	

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土/9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460 (FAX) [Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)]

MN0823-011023